

思い残すことは一切ない。

大野市のかじ取り役を担い12年。全力投球で取り組んできた。



Profile おかだ・たかお 県立大野工業高校卒。平成7年2月大野市議会議員当選。平成13年11月自民党県連青年局幹事長。平成18年7月大野市長に就任。平成26年2月自民党県連副会長。現在、大野市長3期目。59歳。

市長に初当選すると道路網の整備促進を最優先課題と捉え、一貫して中部縦貫自動車道の早期整備を精力的に要望。特に、全市民が待ち望んでいたことをアピールしてきた。

一方、1期目は全庁体制で「越前大野元気プラン」に基づき、人、歴史、文化、伝統、自然、環境、食など大野が誇る魅力ある素材の全てに磨きをかけ、「越前おおのブランド」として確立するための取り組みに着手。現実に即したスピード感あふれる取り組みを心がけ自ら積極的に行動。

先人から受け継いだ城下町（中心市街地）は、大野市の顔であり宝。人が集う、活気に満ちた城下町の再生を目指した「大野市中心市街地活性化基本計画」が、平成20年7月

法律が新しくなってきたから人口5万人以下の市では全国初の内閣総理大臣の認定を受ける。越前おおの総ブランド化を目指していこうと意を強くした人が集い行政や市民、商店街、関係団体や機関などが一丸となって取り組んでいく。

平成22年、越前大野城が築城430年を迎えることを記念して「越前大野城築城430年祭」を開幕し、約1年にわたり60件近くの多彩な事業を展開。

2期目は「越前おおのブランド戦略」を策定し、越前おおのブランドの根本となる考え方、ブランド・コンセプトを『人を結び、時を結び、地域を結ぶ』ここは、あなたの心のふるさとです。』とし、市全体のイメージを表すブラ

7年余りの市議を経て市長選に挑戦するも落選。4年後の平成18年6月、「閉塞感が漂う大野に活力と元氣を取り戻したい」と訴え大野市長に初当選以来、3期12年。60歳を前にしての不出馬決断に市民は驚き、引退を惜しむ声は大きい。現在、自民党県連副会長も務める岡田氏に次は知事選か、それとも国選挑戦かと期待は膨らむ。